

参天製薬株式会社 決算説明会

2015年度第1四半期業績概要

A Clear Vision For Life[®] 

常務執行役員

チーフ・ファイナンシャル・オフィサー (CFO)

兼 財務本部長

越路 和朗

2015年8月4日

参天製薬の基本理念

天機に参与する

「目」をはじめとする特定の専門分野に努力を傾注し、それによって参天ならではの知恵と組織的能力を培い、患者さんと患者さんを愛する人たちを中心として、社会への寄与を行う。

長期的な経営ビジョンと 2014-2017年度中期経営計画

長期的な経営ビジョン

世界で存在感のある スペシャリティ・カンパニーの実現

- 真の顧客ニーズを深く考え*
- 競合企業に対する明確な強みをもって
- グローバルな競争力・存在感を持つ会社

*真の顧客ニーズ： 患者さん・生活者・医師・医療従事者のアンメットニーズ

長期的成長の目標

2013

前中計終了時点

国内の更なる基盤強化
アジア・欧州展開準備完了

グローバルTOP5
海外売上比率16%

2017

中期的な目標

アジア・欧州の成長と収益化
米国・その他への展開準備

海外売上比率30%

2020
Santen

2020年までに目指す姿

“世界で存在感のある
スペシャリティ・カンパニー”

グローバルTOP3以内
海外売上比率40-50%

2014-2017年度 中期経営計画 基本方針

製品創製

持続的な成長を可能とするための
製品創製への変革、生産性向上の実現
積極的な事業開発投資の継続

事業展開

アジア・欧州での事業成長および
新規市場参入によるプレゼンス向上

組織・人材

持続的な成長を実現するための
人材育成と組織構築、および
グローバル・マネジメント体制の強化

2015年度 第1四半期 連結業績概要

2015年度 第1四半期 決算概況【IFRS】

(フルベース)

(単位：億円)	2014年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期	
		実績	対前期増減率
売上収益	337	480	+42.4%
営業利益	59	108	+83.5%
税引前当期利益	60	112	+88.4%
当期利益	41	75	+85.5%

(コアベース)

売上収益	337	480	+42.4%
営業利益*	59	122	+108.6%
当期利益	39	82	+110.3%

* コア営業利益 = 営業利益 + 製品に係る無形資産の償却費 - その他収益 + その他費用

損益計算書の要約差異（対前年比較）

(単位：億円)	2014年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期		主な差異要因												
		実績	前年比													
売上収益	337	480	+42.4%													
売上原価 (対売上高比率)	▲136 40.3%	▲179 37.2%	+31.5% ▲3.1pt	・品目構成の変化 ▲2.3pt ・NPM* ▲0.9pt												
販売費及び一般管理費 (対売上高比率)	▲102 30.2%	▲133 27.8%	+30.8% ▲2.5pt	・国内事業 ▲9億円 ・アジア ▲8億円（為替▲3億円） ・欧米 ▲17億円（為替+1億円）												
研究開発費 (対売上高比率)	▲41 12.1%	▲46 9.6%	+12.7% ▲2.5pt	・国内▲3億円 ・海外▲3億円（為替▲2億円）												
製品に係る無形資産償却費 (対売上高比率)	▲1 0.2%	▲14 3.0%	- +2.8pt	・メルク無形資産償却費 ▲13億円												
その他の収益	1	1	▲20.3%													
その他の費用	0	▲1	+167.8%													
営業利益 (対売上高比率)	59 17.5%	108 22.5%	+83.5% +5.0pt													
金融収益	4	5	+7.4%	<table border="1"> <tr> <td><為替レート></td> <td>14FY1Q実績</td> <td>15FY1Q実績</td> </tr> <tr> <td>US \$</td> <td>JPY 102.17</td> <td>JPY 121.51</td> </tr> <tr> <td>Euro</td> <td>JPY 140.18</td> <td>JPY 134.01</td> </tr> <tr> <td>中国元</td> <td>JPY 16.54</td> <td>JPY 19.81</td> </tr> </table>	<為替レート>	14FY1Q実績	15FY1Q実績	US \$	JPY 102.17	JPY 121.51	Euro	JPY 140.18	JPY 134.01	中国元	JPY 16.54	JPY 19.81
<為替レート>	14FY1Q実績	15FY1Q実績														
US \$	JPY 102.17	JPY 121.51														
Euro	JPY 140.18	JPY 134.01														
中国元	JPY 16.54	JPY 19.81														
金融費用	▲4	0	▲89.8%													
税引前当期利益	60	112	+88.4%													
法人所得税費用	▲19	▲37	+94.5%													
当期利益	41	75	+85.5%													
コア営業利益	59	122	+108.6%													
コア当期利益	39	82	+110.3%													

*NPM（Net Profit Margin）：販売承認の移管が未完の製品で、メルク社に販売を委託しているものについての収入

セグメント別売上

(単位：億円)	2015年度 第1四半期 実績					
	国内		海外		合計	
	売上収益	対前年 増減率	売上収益	対前年 増減率	売上収益	対前年 増減率
医薬品事業	343	+32.8%	130	+80.4%	474	+43.2%
医療用医薬品	320	+30.2%	130	+80.5%	450	+41.6%
眼科薬	292	+32.8%	116	+67.3%	408	+41.1%
抗リウマチ薬	26	+9.5%	-	-	26	+8.8%
その他医薬品	1	▲16.6%	14	+447.1%	15	+272.2%
一般用医薬品	24	+81.5%	0	+53.9%	24	+81.3%
その他	6	▲1.8%	0	-	6	+0.1%
医療機器	5	▲6.0%	0	-	5	▲3.9%
その他	1	+44.9%	-	-	1	+44.9%
合計	349	+32.0%	130	+80.6%	480	+42.4%

海外売上・コア営業利益

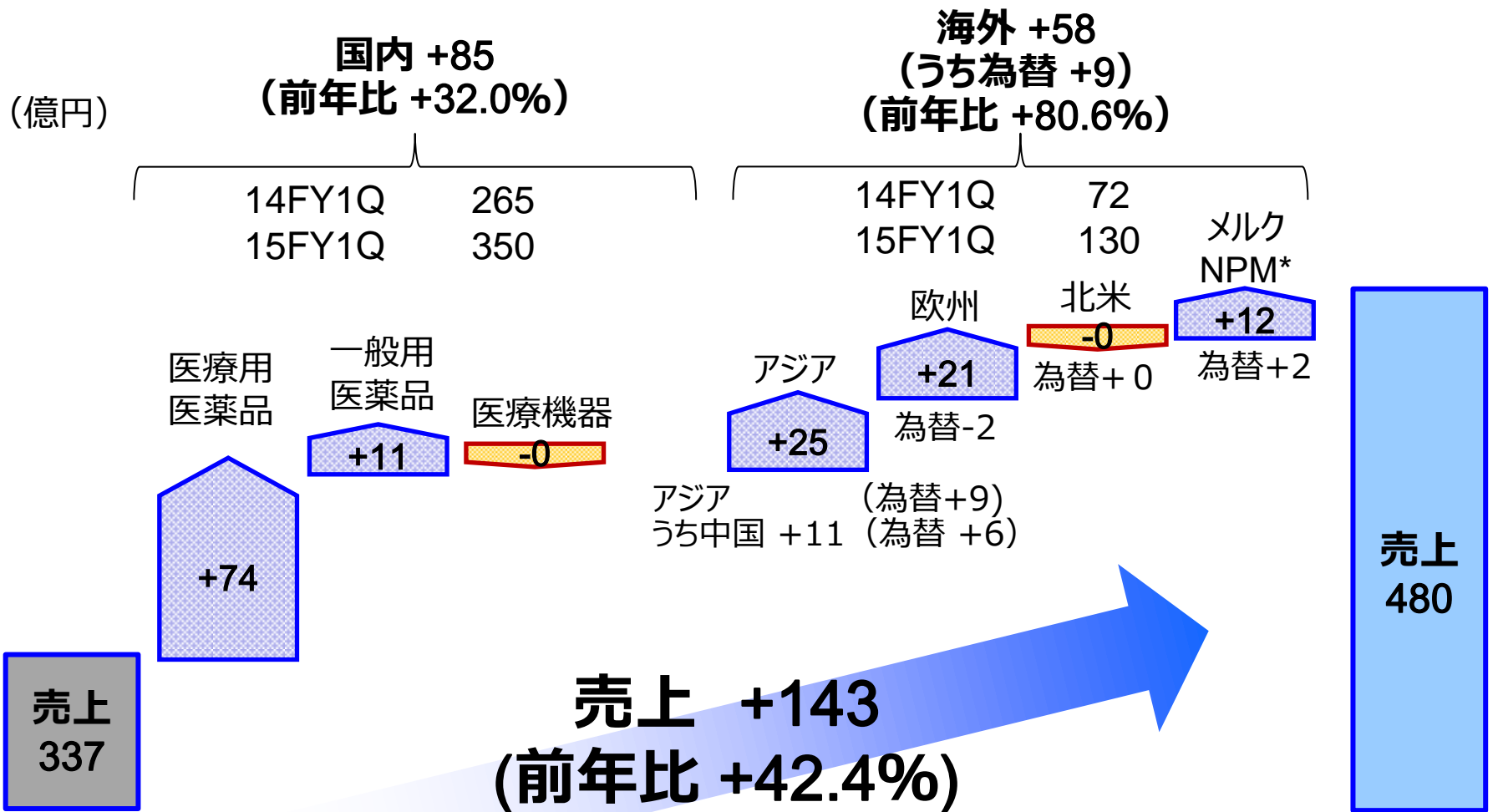
(単位：億円)	2014年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期 実績		
	売上収益	売上収益	対前年 増減率	営業利益**
北米	3	14*	+445.6%	▲7
欧州	32	53	+66.3%	6
アジア	38	63	+67.8%	24
うち、中国	25	36	+43.9%	
合計	72	130	+80.6%	23

海外売上高比率	21.4%	27.2%	+5.7pt	-
---------	-------	-------	--------	---

* ムルク案件に伴うNPMは、北米の売上として計上

** 当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販管費・研究開発費控除前ベース）。ムルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替済み。

2015年度 第1四半期 売上収益の増減内訳



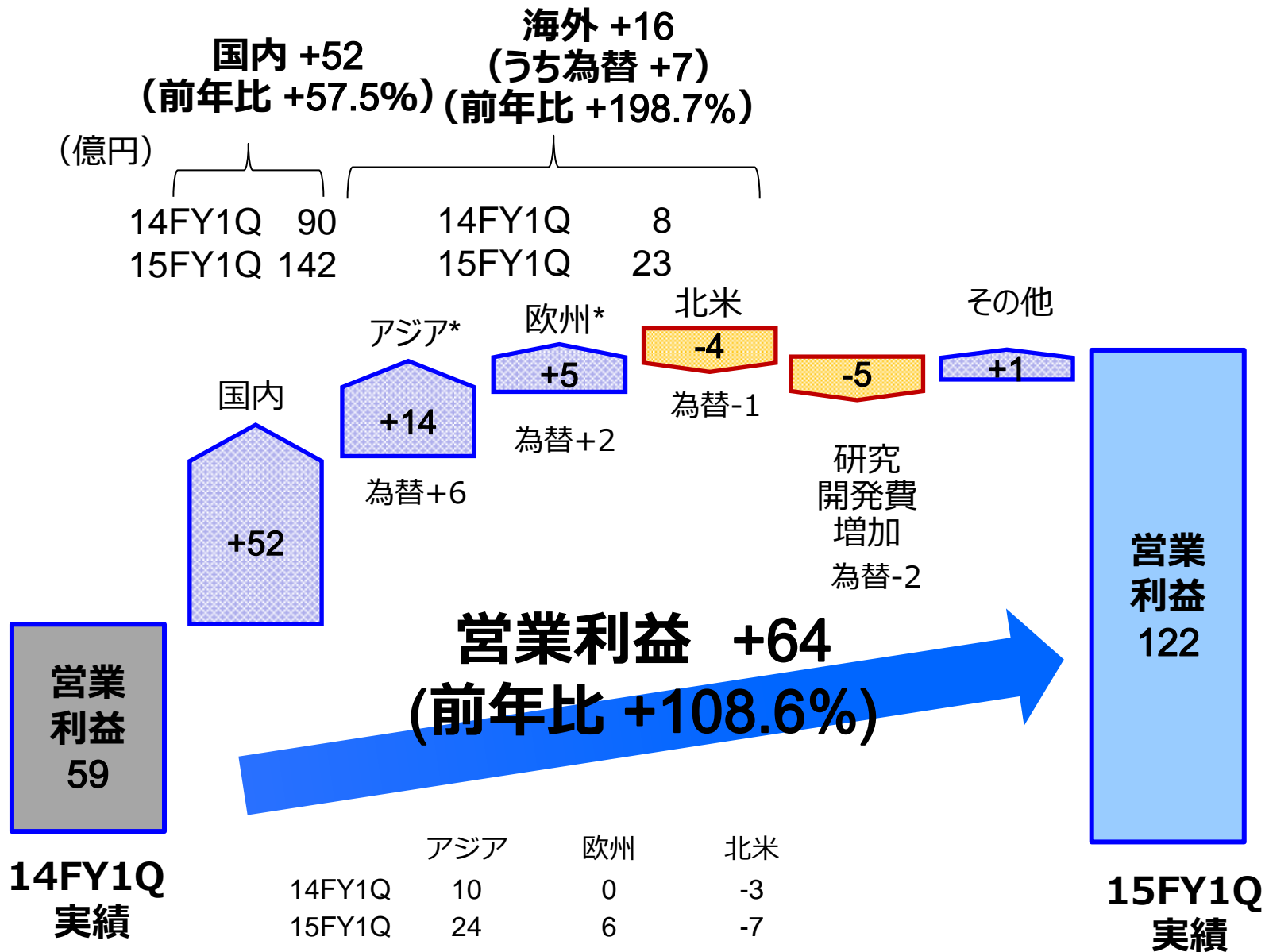
14FY1Q
実績

15FY1Q
実績

	医療用 医薬品	一般用 医薬品	医療機器	国内 その他	アジア	欧州	北米	メルク NPM*
14FY1Q	244	13	6	2	38	32	3	0
15FY1Q	318	24	5	2	63	53	2	12

*NPM (Net Profit Margin) : 販売承認の移管が未完の製品で、メルク社に販売を委託しているものについての収入

2015年度 第1四半期 コア営業利益の増減内訳



* 当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販管費・研究開発費控除前ベース）。メルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替済み。

メルク案件の進捗状況について

メルク案件の進捗状況について

(単位：億円)	2015年度 第1四半期 実績		2015年度 予想	
	メルク案件	連結合計	メルク案件	連結合計
売上収益	47	480	215	1,865
NPM*	12	12	41	41
自社販売	35	468	174	1,824

～2015年3月

- メルクから取得した眼科製品を11か国（フィンランド、ドイツ、スウェーデンなど）で販売開始

2015年4月～6月

- 8か国（香港、アイスランド、イタリア、ロシア、スペインなど）で販売開始

*NPM（Net Profit Margin）：販売承認の移管が未完の製品で、メルク社に販売を委託しているものについての収入

抗リウマチ薬事業の会社分割による 事業承継の完了について

抗リウマチ薬事業の会社分割による事業承継の完了について

- 2015年5月12日に発表した当社の抗リウマチ薬事業のあゆみ製薬株式会社*への承継に伴う会社分割について8月3日に手続きを完了
- 会社分割手続きの完了に伴い、当該事業の権利義務を承継する対価として450億円の金銭を8月3日に受領
- 本件による今期業績予想への影響は、今期業績予想に反映済み。今期通期業績予想の修正なし

*あゆみ製薬株式会社は、2015年6月2日に旧商号ヒュペリオンファーマ株式会社より商号を変更

2015年度 通期業績予想について

2015年度 連結業績予想

(単位：億円)	2015年度 予想					
	上期	対前年 増減率	下期	対前年 増減率	通期	対前年 増減率
売上収益	925	+28.6%	940	+4.5%	1,865	+15.2%
売上原価 (対売上高比率)	▲320 34.6%	+20.4%	▲344 36.6%	+15.5%	▲664 35.6%	+17.8% +0.8pt
販売費及び一般管理費 (対売上高比率)	▲285 30.8%	+30.3%	▲284 30.2%	+5.1%	▲569 30.5%	+16.4% +0.3pt
研究開発費 (対売上高比率)	▲110 11.9%	+34.6%	▲119 12.7%	+27.9%	▲229 12.3%	+31.0% +1.5pt
製品に係る無形資産償却費 (対売上高比率)	▲30 3.2%	+131.2%	▲31 3.3%	+15.6%	▲61 3.3%	+53.3% +0.8pt
その他の収益	450	-	-	▲100.0%	450	-
その他の費用	▲10	-	▲2	▲50.5%	▲12	+162.0%
営業利益 (対売上高比率)	620 67.0%	+338.7%	160 17.0%	▲24.7%	780 41.8%	+120.5% +20.0pt
コア営業利益 (対売上高比率)	210 22.7%	37.3%	193 20.5%	▲18.9%	403 21.6%	+3.1%

<為替レート>	14FY実績	15FY予想
US \$	JPY 110.14	JPY 125.00
Euro	JPY 139.01	JPY 135.00
中国元	JPY 17.84	JPY 20.00

2015年度 配当予想について

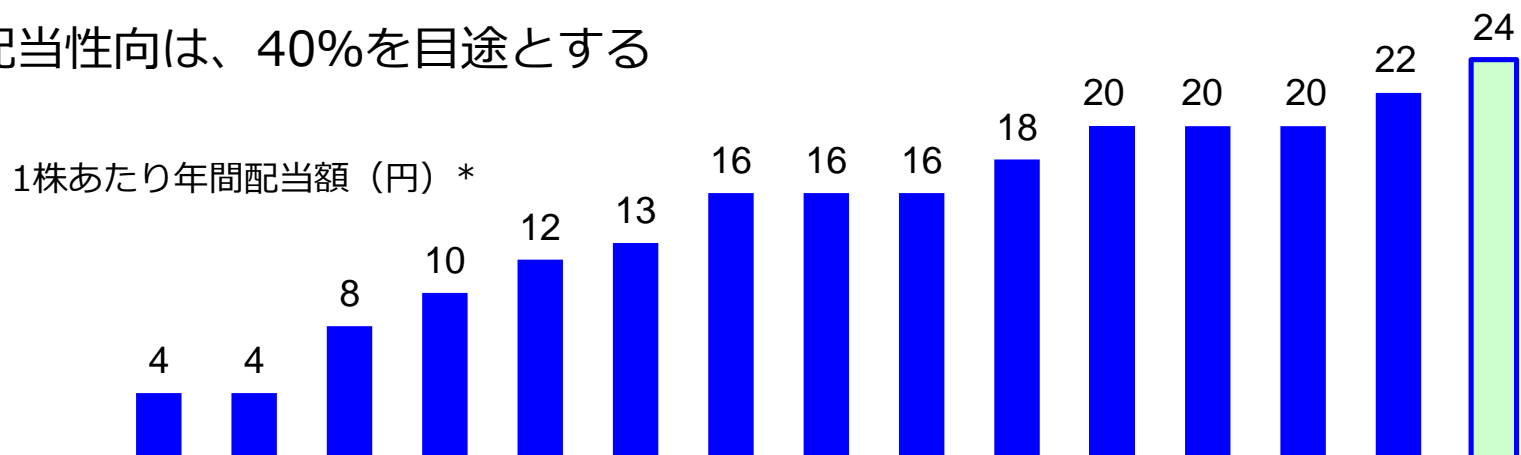
2015年度配当予想

■ 2015年度 通期

- 年間配当予想：24円

■ 2014－2017年度 株主還元基本方針

- 安定的、且つ、持続的な株主還元策を実施
- 研究開発、アライアンス等、将来成長のための資金を確保
- 機動的に自己株式買付を検討
- 配当性向は、40%を目途とする



	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015予
配当性向（%）**	35	21	56	40	40	43	55	67	36	36	51	51	48	38	***19
自己株取得額（億円）	32	32	0	26	0	0	48	0	0	0	0	137	0	0	－
総還元性向（%）**	96	60	56	63	40	43	86	67	36	36	51	134	48	38	－

*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割を実施。2014年3月以前の配当額は、当該株式分割の株数を基に算出

**2001-2013はJ-GAAP、2014以降はIFRSを基準に算出

***2015年配当性向の予想は、抗リウマチ薬事業の権利義務を承継する対価としての一時収入を除くと39%となる見込み

參考資料

2015年度 第1四半期 連結業績概要

連結財政状態計算書

(単位：億円)	2015年3月末		2015年6月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
非流動資産	1,535	50.5%	1,538	51.0%	+3
流動資産	1,507	49.5%	1,476	49.0%	▲31
資産合計	3,042	100.0%	3,014	100.0%	▲28
資本合計	2,118	69.6%	2,165	71.8%	+47
非流動負債	361	11.9%	345	11.4%	▲16
流動負債	563	18.5%	505	16.8%	▲58
負債合計	924	30.4%	849	28.2%	▲75
資本及び負債合計	3,042	100.0%	3,014	100.0%	▲28

発行済株式数：2015年3月末 413,266千株* → 2015年6月末413,703千株

【主要変動科目】

- 非流動資産 開発製造販売権+85億円、仕掛研究開発▲73億円
- 流動資産 現金及び預金▲98億円
- 非流動負債 長期借入金▲29億円

*2015年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき5株の割合で分割を実施。
2014年3月の株式数は、当該株式分割が2014年3月末に行われたものと仮定して算定。

連結キャッシュ・フロー計算書 要約

(単位：億円)		2014年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期 実績	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー		▲50	▲3	+46
投資活動によるキャッシュ・フロー		2	▲26	▲27
財務活動によるキャッシュ・フロー		310	▲76	▲385
現金及び現金同等物の増減額		261	▲105	▲366
現金等期首残高		724	659	▲65
現金及び現金同等物の為替変動による影響		▲5	6	+11
現金及び現金同等物の期末残高		980	561	▲420

設備投資額/減価償却費

(単位：億円)	2014年度 第1四半期 実績	2015年度 第1四半期	
		実績	増減額
設備投資額	4	8	+5
減価償却費	8	*22	+14

* 米メルク社の眼科製品の譲り受けに伴い取得した無形資産の償却費13億円を含む

IFRS コアベースの定義

IFRS	Core
売上収益	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販売費及び一般管理費	販売費及び一般管理費
研究開発費	研究開発費
製品に係る無形資産償却費	→ 対象外
その他の収益	→ 対象外
その他の費用	→ 対象外
営業利益	コア営業利益
金融収益 (受取利息・配当、為替差益)	→ 対象外
金融費用 (支払利息、為替差損)	→ 対象外
税引前当期利益	コア税引前当期利益
法人所得税費用	法人所得税費用
当期利益	コア当期利益

コアベースでの業績指標について

- IFRSフルベースから一部の収益、費用を控除した「コアベース」での財務情報を経常的な業績を示す財務指標を採用
- IFRSフルベースによる業績から控除される項目：
製品に係る無形資産償却費、その他収益、その他費用、金融収益、金融費用

IFRSフルベースとコアベースの比較

(億円)	2014年度 1Q実績	2015年度 1Q実績
IFRS 営業利益 (フルベース)	59	108
ノンコアの控除対象項目	▲0	+14
製品に係る無形資産償却費	+1	+14
その他の収益	▲1	▲1
その他の費用	+0	+1
コア営業利益	59	122

参考資料
2015年度 通期業績予想

2015年度 セグメント別売上予想

(単位：億円)	2015年度 予想					
	国内		海外		合計	
	売上収益	対前年 増減率	売上収益	対前年 増減率	売上収益	対前年 増減率
医薬品事業	1,294	+5.8%	539	+45.8%	1,833	+13.3%
医療用医薬品	1,230	+6.3%	538	+45.9%	1,768	+11.0%
眼科薬	1,185	+12.5%	491	+59.9%	1,676	+23.2%
抗リウマチ薬	36	▲62.2%	0	-	36	▲62.4%
その他医薬品	9	+14.4%	47	▲23.0%	56	▲18.9%
一般用医薬品	64	▲3.2%	1	▲0.6%	65	▲3.2%
その他	28	+11.3%	4	+831.0%	32	+25.2%
医療機器	25	+9.5%	1	+19.1%	26	+9.7%
その他	3	+28.5%	4	-	7	+174.3%
合計	1,322	+5.9%	543	+46.8%	1,865	+15.2%

2015年度 海外売上・営業利益予想

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度予想		
	売上収益	売上収益	対前年 増減率	営業利益**
北米	62	49*	▲20.0%	▲25
欧州	142	254	+79.5%	38
アジア	167	239	+43.4%	58
うち、中国	107	135	26.5%	-
合計	370	543	+46.8%	71

海外売上高比率	22.9%	29.1%	+6.3pt	-
----------------	--------------	--------------	---------------	----------

* ムルク案件に伴うNPMは、北米の売上として計上

** 当社の管理会計基準に基づく利益（一部の販管費・研究開発費控除前ベース）。ムルク案件に伴うNPMを関連する地域別事業に振替済み。

2015年度 設備投資額/減価償却費予想

(単位：億円)	2014年度 実績	2015年度	
		予想	対前期 増減額
設備投資額	54	77	+23
減価償却費*	70	93	+24

* 米メルク社の眼科製品の譲り受けに伴い取得した無形資産の償却費として、2014年度実績に37億円、2015年度予想に51億円を含む

参考資料

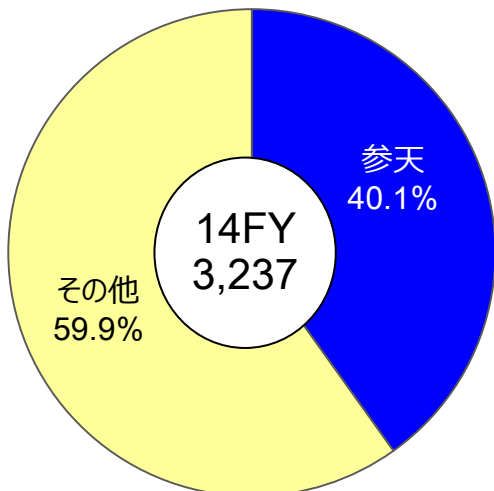
国内医療用眼科薬市場概況

市場概況

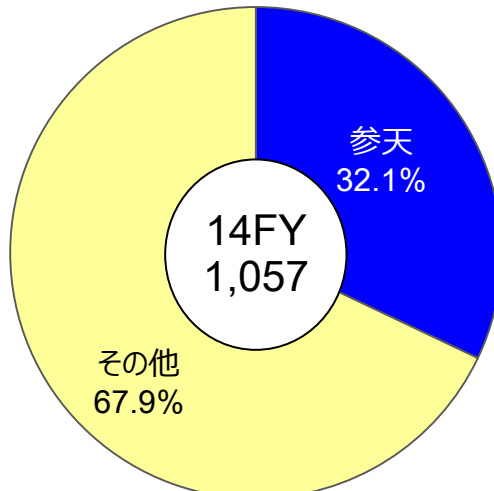
国内医療用眼科薬（眼科計・緑内障・角膜）

市場規模:億円
%: 金額ベース

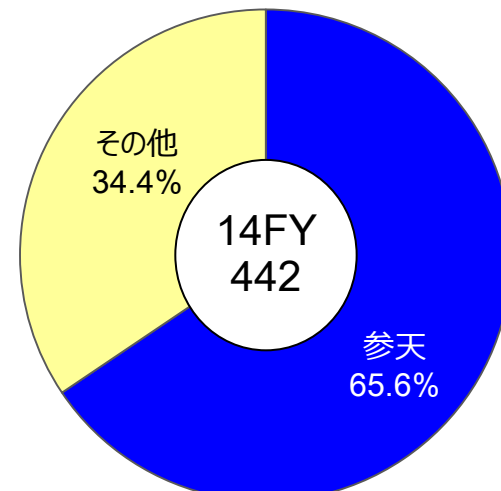
眼科薬計



抗緑内障剤



角膜疾患治療剤



		14FY	15FY 第1四半期
(金額) 前年比	市場	+7.4%	+13.8%
	参天	+9.3%	+25.9%
参天シェア		40.1%	42.5%

		14FY	15FY 第1四半期
		+0.9%	+12.1%
		+6.1%	+24.7%
		32.1%	32.7%

		14FY	15FY 第1四半期
		-0.0%	+10.2%
		-7.0%	+5.9%
		65.6%	64.0%

- 主な参天製品：

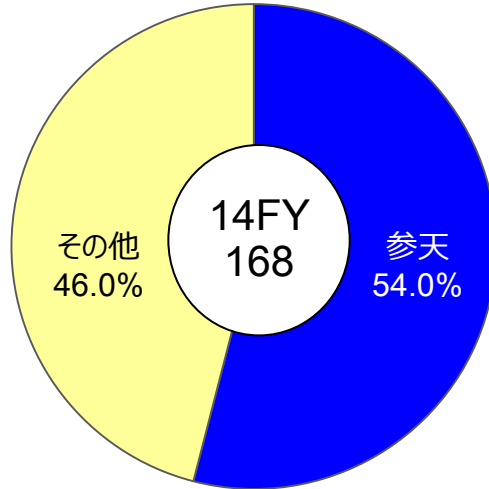
- ・抗緑内障剤：タプロス、コソプト、チモプトール/XE、トルソプト、レスキュラ、デタントール、タブコム
- ・角膜疾患治療剤：ヒアレイン、ジクアス

出典：©2015 IMS Health
IMS-JPM 2013-15を基に参天分析
無断転載禁止

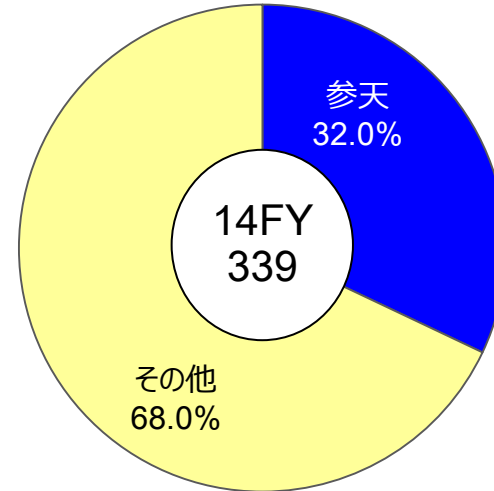
国内医療用眼科薬（抗菌・抗アレルギー）

市場規模: 億円
%: 金額ベース

抗菌点眼剤



抗アレルギー剤



		14FY	15FY 第1四半期
(金額) 前年比	市場	-8.2%	-0.3%
	参天	-15.3%	-9.7%
参天シェア		54.0%	51.0%

		14FY	15FY 第1四半期
		+21.4%	+8.1%
		+83.3%	+38.5%
		32.0%	37.8%

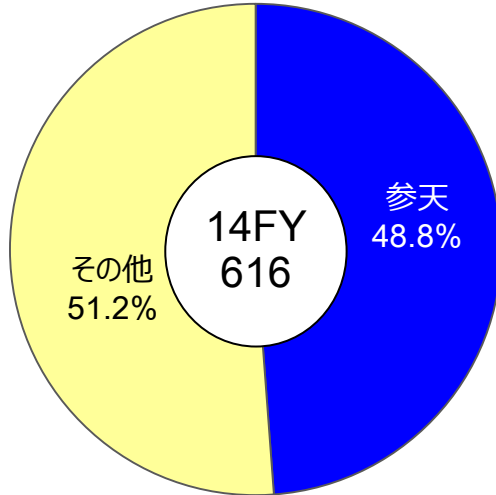
- 主な参天製品：
 ・抗菌点眼剤：クラビット、タリッド
 ・抗アレルギー剤：アレジオン、リボスチン、アレギサル

出典：©2015 IMS Health
 IMS-JPM 2013-15を基に参天分析
 無断転載禁止

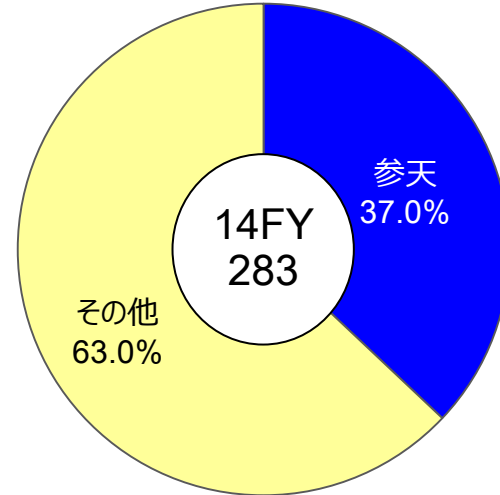
国内医療用眼科薬（抗VEGF） / 抗リウマチ薬

市場規模: 億円
%: 金額ベース

抗VEGF剤



抗リウマチ剤 (DMARDs)



14FY 15FY
第1四半期

(金額) 前年比	市場	+42.6%	+41.2%
	参天	+43.0%	+80.2%
参天シェア		48.8%	57.4%

14FY 15FY
第1四半期

-1.5%	+3.7%
-5.1%	+1.3%
37.0%	36.7%

- 主な参天製品：
 ・抗VEGF剤：アイリーア
 ・抗リウマチ剤：リマチル、アザルフィジン、メトレート

出典：©2015 IMS Health
 IMS-JPM 2013-15を基に参天分析
 無断転載禁止

参天製薬株式会社

2015年度 第1四半期

製品開発の現状

A Clear Vision For Life® 

常務執行役員

チーフ・サイエンティフィック・オフィサー (CSO)

研究開発本部長

ナヴィード・シャムズ

主要臨床プロジェクト状況一覧①

グローバル品

日本（アジア）品

疾患領域	プロジェクト名	化合物/ 作用機序	地域	開発ステージ					前四半期 からの変更点
				P1	P2	P3	申請	承認・ 発売	
緑内障・ 高眼圧症	DE-111	タフルプロスト/ チモロールマレイ ン 酸塩（配合 剤）	日本						
			欧州						
			韓国					★	承認取得
			アジア						
	DE-118	タフルプロスト UD	日本						
			アジア					★	承認取得
DE-085	タフルプロスト	中国							
DE-117	EP2受容体 作動薬	米国							
DE-090	ロメリジン塩酸塩	日本							
角結膜 疾患	Cyclokat	シクロスポリン	欧州					★	ドイツで発売
			米国						
	DE-089	ジクアホソル ナトリウム	中国						
			アジア					★	承認取得

主要臨床プロジェクト状況一覧②

グローバル品

日本（アジア）品

疾患領域	プロジェクト名	化合物/ 作用機序	地域	開発ステージ					前四半期 からの変更点
				P1	P2	P3	申請	承認・ 発売	
網膜・ ぶどう膜 疾患	DE-109	シロリムス	欧州						
			日本						
			米国						
			アジア				★		承認申請
	DE-120	VEGF/PDGF 阻害剤	米国						
DE-122	抗エンドグリン 抗体	米国						IND申請	
アレルギー	Vekacia	シクロスポリン	欧州						

主要臨床プロジェクトの現状

－緑内障・高眼圧症－

■DE-085 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
中国	承認申請中	承認申請中	一般名： タフルプロスト

■DE-090 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
日本	P2	P2	一般名： ロメリジン塩酸塩

■DE-111 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
日本	発売	発売	一般名： タフルプロスト／チモロール マレイン酸塩（配合剤）
欧州	発売	発売	
韓国	承認	承認申請中	
アジア	承認申請中	承認申請中	

主要臨床プロジェクトの現状

－緑内障・高眼圧症－

－角結膜疾患－

■DE-117 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
米国	P2b終了	P2b終了	EP2受容体作動薬

■DE-118 緑内障・高眼圧症

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
アジア	承認 (香港)	承認申請中	一般名： タフルプロスト

■DE-089 ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
アジア	承認 (タイ)	承認申請中	一般名： ジクアホソルナトリウム

主要臨床プロジェクトの現状

— 網膜/ぶどう膜疾患 —

■DE-120 滲出型加齢黄斑変性

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
米国	P2a	P2a	VEGF/PDGF阻害剤

■DE-109 ぶどう膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
米国	P3	P3	一般名：シロリムス
日本	P3	P3	
欧州	申請	申請	
アジア	申請	—	

■DE-122 滲出型加齢黄斑変性

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
米国	IND申請	—	抗エンドグリン抗体

主要臨床プロジェクトの現状 -サンテン・エス・イー・エス-

■Cyclokate/Ikervis (シクロカット/アイケルビス) 重症ドライアイ

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
欧州	発売 (ドイツ)	承認取得	一般名：シクロスポリン
米国	P2終了	P2終了	

■Vekacia (ベカシア) 春季カタル

地域	開発段階		備考
	今回	前回 (5/12発表時)	
欧州	P3	P3	一般名：シクロスポリン

※以下のものは事業性評価中

開発品名	適応症	地域	開発段階	備考
Catioprost (カチオプロスト)	緑内障・ 高眼圧症	欧州	P2	一般名：ラタノプロスト
Cortiject (コルチジェクト)	糖尿病 黄斑浮腫	米国	P1/2	一般名：デキサメタゾン パルミチン酸エステル

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。

A Clear Vision For Life[®]

Santen